

## 平成 29 年度第 1 回三重県行財政改革推進本部本部員会議概要

- 1 開催日時：平成 29 年 4 月 27 日（木）9:40～9:55
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

### 議題 1 H29 年度職員提案制度について

畑中行財政改革推進課長（資料 1 に基づき説明）

- ・昨年度若手職員を中心としたワーキング・グループにおいて見直しを検討し、人材育成の観点に重点を置き、課題発見・改善意識を持って提案ができる職員の育成や組織の活性化に注力していくこととした。
- ・これまでの「一口政策提案」にかわり、気づき・問題提起についても対象とする「アイデア BOX」を運用する。集まったアイデアについては、毎月関係部局に情報提供をさせていただくとともに、参考としたアイデアを年 2 回全職員にフィードバックし、情報共有に努める。
- ・提案の質を高めて事業化につなげていくため、他の制度（ジュニアボードや政策創造員等）を経験した職員も含めた幅広い視点から、提案のブラッシュアップを行う「テーマ別事業提案」を実施する。なお、平成 29 年度は試行として、働き方改革・生産性向上推進懇談会からいただいた、「県庁の働き方改革」に関する提言について意見交換を行うため、部局からの課題の募集、職員からの提案の募集は行わない。
- ・他制度との相乗効果を図るため、政策創造員やジュニアボード、MIE 職員力アップワードなどの諸制度を集約した「MIE 職員力ポータルサイト」を構築する。

西城戦略企画部長

- ・アイデア BOX について、気づき・問題提起も対象とした趣旨は気軽に応募できる様にしたということか。

畑中行財政改革推進課長

- ・その通り、制度に参画する職員のすそ野を広げることを目的としている。

西城戦略企画部長

- ・質の高い提案を成果につなげていくとのことだが、その観点で改善した部分はあるのか。

畑中行財政改革推進課長

・提案をブラッシュアップする場を設け、これまでの1対1の意見交換に替わり、多様な立場の職員の視点を取り入れることで、提案の質を高めていきたい。

議題2 平成29年度MIE職員力アワードについて

畑中行財政改革推進課長（資料2に基づき説明）

・部局で優秀取組の選抜を行う部局選抜方式を導入する。部局長のリーダーシップのもと、応募につながっていなかった優良取組の発掘や部局内の改善・改革活動を活性化するとともに、審査の負担の軽減と質の向上につなげていきたい。

・募集期間までに終了しておらず応募に至らなかった取組があったこと、審査期間が年末年始に重なっていたことによる負担軽減のため、募集期間・時期を1か月繰り下げた。

・「優良事例の水平展開」に向けて、ワーク・ライフ・マネジメント部門の優良事例集を職場アクションシートの作成に活用していただくほか、協創推進部門の事例を協創ポータルサイトで事例集として掲載しており、随時周知を行っていく。

・職員力向上部門等については、各所属等で活用してもらえるような取組のヒントを提供していく。ヒント集の作成や効果的な提供方法については、平成29年度のジュニアボードの場も活用し、検討する。

鈴木地域連携部長

・部局選抜方式について具体的にどの様に行うのか。

嶋田総務部長

・部局選抜の手法については、部の規模もあるので柔軟に検討していく。部局選抜から漏れたものが埋もれていかないように整理していきたい。

西城戦略企画部長

・部局選抜方式について、審査員の負担軽減にはつながると思うが、部局の負担が増大すると思う。

服部危機管理統括監

・これまで小さな改善取組でも積極的に応募を促してきた。選抜が前面に出ないように、漏れたものも部局の中で紹介を行う等の手法も考えていただきたい。

日沖総務部副部長

・部局にとって負担感が大きくなるないように、具体的なルール、要領等について、整理したうえで別途お示しさせていただく。

## その他

嶋田総務部長

・現場インターンについては、昨年度5部局で実施させていただいた。各事業における現場重視・協創の促進を図るため、今年度においてもより積極的な実施をお願いしたい。